

新ビジョンに係る主な施策における主要事務事業(令和6年度・令和7年度)

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	R6	R7	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					R6予算額(千円)	R7予算額(千円)
							事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値	事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値		
I 「稼げるまち」の実現																		
道路ネットワークの整備	1	下関北九州道路整備促進事業	西日本地域の広域道路ネットワークを支える極めて重要な道路として、下関北九州道路の早期実現に向けた、調査及び都市計画にかかる手続等を行うとともに、国や関係機関に対して要望・提案活動を実施する。	●	●	都市交通政策課	早期実現のための要望活動を2県2市(福岡県、山口県、北九州市、下関市)経済界等で共同で実施	2回/年	R3	2回/年以上	2回/年以上						12,500	13,000
再生可能エネルギーや水素拠点化を通じた市内企業の成長と産業集積	2	住宅・建築物の脱炭素化推進関連事業	「2050年のゼロカーボンシティ」実現に向け、住宅や建築物の脱炭素化(ZEH・ZEB化等)について、技術力向上研修や民間事業者と連携した現場見学会等により、事業者や市民の理解を深めるとともに、事業者の技術力向上を図る。	●	●	住まい支援室	技術力向上研修(e-ラーニング)受講者の満足度	—	—	80.0%	80.0%						2,700	3,000
II 「彩りあるまち」の実現																		
人や企業から選ばれるまちとしての価値向上	3	豊かで居心地のよいまちづくり事業	エリアの価値を高める居心地のよい都市空間を創出するため、官民連携での社会実験(小倉・黒崎)を行いながら、高質で賑わいのある都市デザインを策定することで、新たな民間開発を誘導する。	●	●	都市再生企画課	まちなかの居心地の良さを図る指標(安心感・寛容性・安らぎ感・期待感)	—	—	—	—	小倉・黒崎駅周辺1kmエリア内の民間建設投資額	—	—	600億円(R5~R8年度の合計値)	600億円(R5~R8年度の合計値)	35,000	64,000
	4	リビテーション推進事業	小倉駅周辺等の民間開発の誘導と企業誘致の促進を重点的に図る「コクラ・クロサキ リビテーション」を推進するため、小倉北区京町三丁目14番地区において次世代仕様のオフィスの建設を行う者などに対して、整備費の一部を補助する。	●	●	事業推進課	小倉・黒崎駅周辺1kmエリア内の民間建設投資額	—	—	600億円(R5~R8年度の合計値)	600億円(R5~R8年度の合計値)						110,500	491,000
ウォーカブルなまちづくり、快適なまちなか歩行空間の整備	5	旧小倉合同庁舎等跡地活用事業	小倉の中心部に位置する旧小倉合同庁舎跡地において、賑わいを創出するためのイベント広場や、市民が憩い交流するスペースの整備を実施する。	●	●	都市再生企画課	旧小倉合同庁舎跡地広場の供用開始	—	—	既存建築物の解体完了	広場整備の完了						187,000	100,000
持続可能な公共交通ネットワークの再構築	6	持続可能な公共交通創造事業	過度なマイカー利用から地球環境にやさしい公共交通や徒歩・自転車への利用転換を図るとともに、デジタル技術等の導入を支援することで、「利用しやすい環境」と「働きやすい環境」を創出し、持続可能な公共交通の実現を目指す。	●		都市交通政策課	市内の公共交通人口カバレッジを約86.0%に維持	86.0%	R3	—		公共交通に対する満足度を約70.0%に向上	66.0%	R3	66.0%以上		13,700	
	7	未来につなぐ公共交通リ・デザイン事業	公共交通の利便性、持続可能性、生産性向上を目指すため、公共交通のDXやバリアフリー化等により、誰もが利用しやすい環境づくりに取り組むとともに、持続可能な公共交通ネットワークの再構築に向けた検討を実施する。	●		都市交通政策課	市内の公共交通人口カバレッジを約86.0%に維持	86.0%	R3			公共交通に対する満足度を約70.0%に向上	66.0%	R3	66.0%以上		27,900	

※R6年度の主要事務事業に該当する場合はR6欄に「●」、R7年度の主要事務事業に該当する場合はR7欄に「●」を記載しています。

新ビジョンに係る主な施策における主要事務事業(令和6年度・令和7年度)

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	R6	R7	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					R6予算額(千円)	R7予算額(千円)
							事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値	事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値		
戦略的な定住・移住施策の推進	8	移住推進関連事業	北九州市への移住を推進するため、若者や子育て世帯をメインターゲットとして、情報発信、お試し暮らし、移住支援金や住宅取得等費用の支援等により、移住の検討段階に応じた切れ目のない支援を実施する。 また、民間事業者ならではのアイデアやノウハウを活かした官民連携による取組や、「北九州市」が移住先の選択肢の一つとして認識してもらえるよう、福岡都市圏へ通勤している方などの声を活かしたPRを行い、北九州市への移住人口の増加に繋げる取組を実施する。	●	●	住まい支援室	移住支援金や住宅取得等費用の補助を利用した転入者数	630人/年	R5	760人/年	460人/年						152,000	139,300
7区の特徴を生かした観光コンテンツの魅力向上(観光地、祭りなど)	9	若松北海岸の自然を活かした体験型・滞在型観光の促進事業	夕日の名所で知られる「遠見ヶ鼻」に代表される自然景観、新鮮な農水産物の産地としての魅力など、観光地としてポテンシャルを有する若松北海岸について、民間事業者等の創意・工夫による投資を促進することで体験型・滞在型観光を実現する。	●	●	都市再生企画課	観光関連施設の開発申請件数の増加	—	—	2件	2件						3,000	3,000
	10	門司港滞在型観光強化事業	門司港地区での回遊性の向上、滞在期間の長期化など滞在型観光を強化するため、空き家や古民家等の既存ストックを再生・活用してエリアマネジメントを行う「まちづくり会社」設立に向けた調査・検討や事業計画の策定を実施する。		●	都市再生企画課	エリアマネジメントを行う「まちづくり会社」設立	—	—			設立に向けた事業計画の策定1件						
Ⅲ「安らぐまち」の実現																		
持続可能な都市経営を目指したまちづくりの推進	11	まちなか居住移転支援事業	持続可能な都市経営の実現に向け、災害から市民の生命・財産を守るとともに、まちなかの活力を維持増進するため、区域区分見直しによる市街化調整区域への編入区域等からまちなかへの移転支援を実施する。	●	●	都市計画課	土砂災害による危険からの回避	—	—	土砂災害による危険からの回避	土砂災害による危険からの回避						21,685	21,185
	12	戦略的都市政策推進事業	市街化区域の斜面地等を市街化調整区域へ見直す区域区分見直しについて、都市計画決定に向けた都市計画手続を実施する。	●		都市計画課	土砂災害による危険からの回避	—	—	土砂災害による危険からの回避							2,000	
	13	民間建築物耐震改修費等補助事業	民間建築物の耐震化を促進するため、一定の要件に該当する木造住宅やマンション、多数の市民が利用する特定建築物等の耐震化及び危険なブロック塀等の除却、耐震化と同時に実施する省エネ改修、耐震性の不足する住宅の除却に要する費用の一部を補助し、市民が安全・安心に暮らせる、地震に強いまちづくりを目指す。	●	●	建築指導課	住宅の耐震化の完了(おおむね解消)	73.6%	H21	95.0%以上		住宅の耐震化の完了(おおむね解消)					44,300	54,544
利活用を含めた空き家対策	14	空き家対策事業	空き家の増加を抑制するため、空き家等対策計画の見直しを行うとともに、空き家等管理活用支援法人等の官民連携により空き家対策を強化する。	●	●	空き家活用推進課	住宅・土地統計調査におけるその他空き家数	26,200戸	H30	28,600戸	29,000戸						172,000	167,000
郊外部など公共交通の不便地域における交通・生活サービスの確保	15	地域の生活交通を確保する「おでかけ交通支援事業」	公共交通空白地域における地域住民の生活交通を確保するため、おでかけ交通を運行するタクシー事業者や車両の小型化により路線を維持するバス事業者への運行支援等を実施する。	●	●	都市交通政策課	市内の公共交通人口カバー率を約86.0%に維持	86.0%	R3	—	—	公共交通に対する満足度を約70.0%に向上	66.0%	R3	66.0%以上	66.0%以上	216,700	200,300

※R6年度の主要事務事業に該当する場合はR6欄に「●」、R7年度の主要事務事業に該当する場合はR7欄に「●」を記載しています。